

# アレクサンドル・メルニコフ ピアノ・リサイタル

J.S.バッハ：半音階的幻想曲とフーガ ニ短調 BWV903

\*使用楽器：ミハエル・ミートケ（レプリカ）

J.S.Bach: Chromatische Fantasie und Fuge d-moll BWV 903

(Michael Mietke, replica)

C.P.E.バッハ：幻想曲 嬰へ短調 Wq.67

\*使用楽器：アントン・ワルター（レプリカ）

C.P.E.Bach: Fantasie fis-moll Wq.67 (Anton Walter, replica)

モーツァルト：幻想曲 ハ短調 K.475

\*使用楽器：アントン・ワルター（レプリカ）

Mozart: Fantasie c-moll K.475 (Anton Walter, replica)

ベートーヴェン：幻想曲 ト短調 作品77

\*使用楽器：ヨハン・ゲオルク・グレーバー

Beethoven: Fantasie g-moll Op.77 (Johann Georg Gröber)

シューベルト：さすらい人幻想曲 ハ長調 D760

\*使用楽器：ヨハン・ゲオルク・グレーバー

Schubert: Wanderer-Fantasie C-dur D760 (Johann Georg Gröber)

スクリャービン：幻想曲 ロ短調 作品28

\*使用楽器：スタインウェイ

Scriabin: Fantasie h-moll Op.28 (Steinway)

シュニトケ：即興とフーガ（1965）

\*使用楽器：スタインウェイ

Schnittke: Improvisation und Fuge (1965) (Steinway)



ALEXANDER  
MELNIKOV  
PIANO RECITAL

©MolinaVisuals

4 PIANOS  
Michael Mietke  
Anton Walter  
Johann Georg Gröber  
Steinway

2020.4.23[木] 18:30開場・19:00開演／水戸芸術館コンサートホールATM

料金（全席指定）：一般 4,500円、U-25（25歳以下）1,500円 ※U-25チケットの取り扱いの水戸芸術館のみ

◎チケット発売：2019年12月14日（土）

財団運営維持会員先行予約：12月10日（火）※電話・WEB予約のみ

水戸芸術館メンバーズ先行予約：12月11日（水）※電話・WEB予約のみ

主催：公益財団法人 水戸市芸術振興財団

一夜のコンサートで4台の鍵盤楽器を弾き分ける  
21世紀の音楽界を牽引するロシアの奇才が登場。

# 一夜のコンサートで4台の鍵盤楽器を弾き分ける 21世紀の音楽界を牽引するロシアの奇才が登場。

21世紀のクラシック音楽界の先頭を走るピアニストとして期待されているアレクサンドル・メルニコフ。スヴァトスラフ・リヒテルやエリツ・ヴィルサラージェといった偉大なピアニストたちが築いたロシア・ピアニズムの継承者として、またイザベル・ファウスト（ヴァイオリン）やジャン＝ギアン・ケラス（チェロ）といった気鋭の弦楽器奏者の共演者として、すでに確固たる地位を築いている。

そのメルニコフが2018年に画期的なCDをリリースした。シューベルト、ショパン、リスト、ストラヴィンスキーの4曲を、グラーフ、エラー、ベーゼンドルファー、スタインウェイという4台のピアノを使って演奏・録音したのだ。適切な楽器の選定と絶句するほどの演奏技術に激しく心を揺さぶられつつ、“CDだからこそ可能な企画だろう”と思っていた。

しかし、時代の先頭を突き進むメルニコフは、コンサートの常識をも果敢に覆してしまうようだ。当コンサートでは、ミートケ、ワルター、グレーバー、スタインウェイという4台の鍵盤楽器を弾き分ける。幅広いレパートリーをすべて1台のピアノに任せるといって“現代のコンサートの常識”は、少なくともメルニコフにとっては、過去のものになってしまった。

2020年に生誕250年を迎えるベートーヴェンを中心に、バロック時代のバッハから20世紀のシュニテケまでを俯瞰する、“ファンタジー”をテーマとしたプログラム。例えば、ファンタジー（幻想曲）ほど作曲家それぞれの夢や憧れをダイレクトに描き出す曲種もない。だからこそ、メルニコフは、偉大な作曲家たちが思い描いたファンタジーを忠実に再現するために、時代に合った楽器を選び、その楽器でしか現出し得ない音の色彩に目を向ける。

古い楽器を使うのだから枯れた音なのだろうなどと高を括っていたら、火傷してしまうかもしれない。色鮮やかで刺激的な、めくるめくファンタジーの世界が待っている。

## 【使用楽器について】

### ♪ミートケ（チェンバロ）

ベルリンの楽器製作者ミハエル・ミートケ（生年不明～1719）によるチェンバロ。J.S.バッハがケーテン時代に弾いていたことで知られる。コンサートではオランダの製作者Jan Kalsbeekによるレプリカ（2000年）を使用。

### ♪ワルター（フォルテピアノ）

ウィーンの楽器製作者アントン・ワルター（1752～1826）によるフォルテピアノ。モーツァルトがその響きを楽しんだことで知られる。コンサートではチェコに工房を構えるPaul McNultyによるレプリカ（2002年）を使用。

### ♪グレーバー（フォルテピアノ）

オーストリア・インスブルックの楽器製作者ヨハン・ゲオルク・グレーバー（1775～1849）によるフォルテピアノ。グレーバーはピアノだけでなくオルガンも製作していた。コンサートでは1820年製のオリジナルを使用。

### ♪スタインウェイ（ピアノ）

ドイツからアメリカに渡った製作者ハンリー・E・スタインウェイ（1797～1871）が1853年ニューヨークで創業、ドイツ・ハンブルクにも生産拠点をもち現代を代表するメーカー。正式名称はスタインウェイ・アンド・サンズ。コンサートでは水戸芸術館所蔵の楽器を使用。

## ●チケットの取り扱い

水戸芸術館（9:30～18:00/月曜休館）

- ・エントランスホール内チケットカウンター
- ・チケット予約センター 029-231-8000
- ・ウェブ予約 <https://www.arttowermito.or.jp/ticket/>
- ・E+（イープラス）<http://eplus.jp>（PC・携帯）

かわまた楽器店 029-226-0351

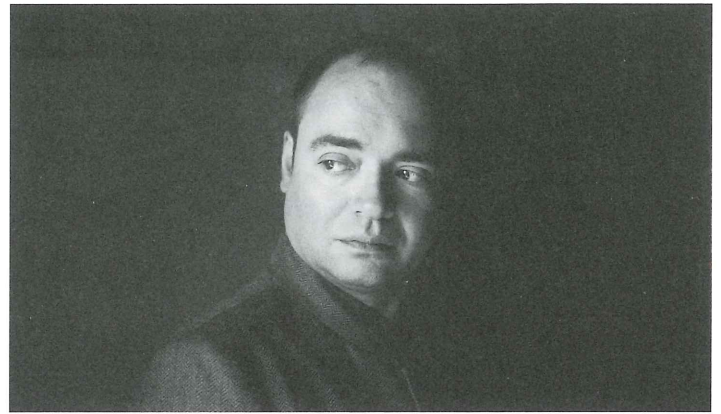
ヤマハミュージッククリエティング水戸店 029-244-6661（店頭販売のみ） TEL.029-227-8111 <https://www.arttowermito.or.jp/>

●お問い合わせ：水戸芸術館 チケット予約センター 029-231-8000/営業時間：9:30～18:00（月曜休館）

●車椅子のお客様、盲導犬、介助犬同伴のお客様は、指定の座席へのスムーズなご案内のため予約時にお知らせください。

●公演中止の場合を除き、一度購入されたチケットの払い戻し、交換等は出来ませんのでご了承ください。●公演の内容、曲目等は、変更になる場合があります。●未就学児のご入場はご遠慮ください。

# ALEXANDER MELNIKOV PIANO RECITAL



©Julien Mignot

## アレクサンドル・メルニコフ（ピアノ）

Alexander Melnikov, Piano

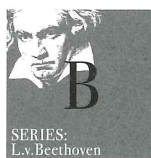
1973年モスクワ生まれ。6歳でモスクワの中央音楽学校に入学し、モスクワ音楽院ではレフ・ナウモフ教授に学ぶ。卒業後、ミュンヘンでエリツ・ヴィルサラージェに師事。アンドレアス・シュタイアーやカール＝ウルリッヒ・シュナーベルらから手ほどきを受けたほか、スヴァトスラフ・リヒテルとも親密な関係を築いた。

1989年のシューマン国際コンクール、1991年のエリザベート王妃国際音楽コンクールなど主要な国際ピアノコンクールで入賞、以来国際的に活躍している。

ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団、フィラデルフィア管弦楽団、フランクフルト放送交響楽団、ロシア・ナショナル管弦楽団、ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、NHK交響楽団などのオーケストラや、ミハイル・プレトニョフ、テオドール・クルレンツィス、シャルル・デュトワ、パーヴォ・ヤルヴィ、ワレリー・ゲルギエフなどの指揮者と共演を重ねている。

室内楽ではワディム・レーピン、ナターリヤ・グートマン、ユリー・バシュメット、アレクサンダー・ルディン、ピーター・ウィスペルウェイ、ジャン＝ギアン・ケラスと共演。現在はイザベル・ファウストとデュオを組んでいる。また、アンドレアス・シュタイアーとピアノ・デュオの活動も行っている。

CDは、ハルモニア・ムンディよりブラームス、ラフマニノフやスクリャービンのソロのほか、イザベル・ファウスト、ジャン＝ギアン・ケラスなどとの共演による室内楽曲をリリース。イザベル・ファウストとの「ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ全集」はドイツのエコー・クラシック賞およびグラモフォン・アワードを受賞。ショスタコーヴィチの〈24のプレリュードとフーガ〉は2010年の最優秀録音に贈られる“Choc de classica”賞を受賞。シューベルト、ショパン、リスト、ストラヴィンスキーの4曲を4種のピアノで弾き分けたCDやプロコフィエフのソナタを集めた最新盤も注目を集めている。



## シリーズ：ベートーヴェン～時空を超えて～

大作作曲家ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン（1770～1827）の生誕250年を記念して、水戸芸術館ではシリーズ企画を通じベートーヴェンの音楽の真髄に迫ります。どうぞご期待ください。

Vol.1 2020.4.23 アレクサンドル・メルニコフ（ピアノ）

Vol.2 2020.6.6 アトリウム弦楽四重奏団

Vol.3 2020.9.6 ディオティマ弦楽四重奏団

Vol.4 2020.11.15 原田禎夫（チェロ）&加藤洋之（ピアノ）

Vol.5 2021.3.28 ブルーノ・レオナルド・ゲルバー（ピアノ）

